ほほえみ

保存版

発行：荏田南地区社会福祉協議会
2021 年春号（VOL. 31）

その悩み、独りで抱え込まないで！
生活面全般：(福)横浜いのちの電話　電話相談：045－335－4343（365日　24時間）
学校・教育・子供：いじめ110番：0120－671－388（365日　24時間）

大豆生田先生の ZOOM 講演会を開催しました。

開催挨拶　藤巻会長　　司会：佐々木副会長

２ページ目に解説があります。

大豆生田　啓友（おおまめうだ　ひろとも）プロフィール

- 玉川大学教育学部教授
- 専門　乳幼児教育学・保育学・子育て支援
- 日本保育学会副会長、日本こども環境学会理事、厚生労働省「保育の質の確保と向上に関する検討会」座長補佐
- NHK・Eテレ「すくすく子育て」コメンテーター。Yahoo! Japan公式コメンテーター、等
- 主著に「非認知能力を育てるあそびのレシピ」（講談社）、「マメ先生が伝える幸せ子育てのコツ（赤ちゃんとママ社）等。

荏田南小学校「絵本とおはなしの会」

読んでいる本をご紹介します。

武笠　朋子（かしの木台ハイツ）

『ちいさいおうち』　　ばーじにあ・りー・ばーとん　ぶんとえ
いしいももこ　やく　　岩波書店

「ちいさいおうち」は、りんごの花の咲くいなかのしずかなところに、しっかり丈夫に建てられた家です。「どんなにたくさんおかねをくれるといわれても、このいえをうることはできないぞ。わたしたちのまごのそのまたまごのときまで　このいえはきっとりっぱにたっているだろう。」と、建てた人は言っていました。そこでは、昼のお日さま、夜のお月さまや星たちを見、春・夏・秋・冬と移る季節も感じられました。しかし、時が過ぎ、遠くには街の灯りが見えるようになり、家の前に広い道ができ、大きなトラックや車が行ったり来たりするようになります。電車がとおり、そこも街になり、「ちいさいおうち」に住む人はいなくなりました。その後も高架線ができ、地下鉄が通り、「ちいさいおうち」の隣に高層ビルが建てられます。みすぼらしくなった「ちいさいおうち」でしたが、しっかりと建っていました。街の灯りは一晩中明るく、お月さまやお星さまも見えなくなり、季節もわからなくなって「ちいさいおうち」は、もう街はいやだと思っていました。ある時この家を建てた人の「まごのそのまたまご」の女の人が立ち止まり、この家は私のおばあさんが住んでいた家と気づきます。でもそれはいなかのちいさな丘に建っていたということで、「ちいさいおうち」は引っ越すことになります。しっかりした家でしたから、引っ越しても大丈夫だったのです。ひろい野原のまんなかのちいさい丘に落ち着きました。窓や鎧戸も直され壁もきれいに塗りなおされ、世話をしてくれる人も住むようになりました。「ちいさいおうち」はうれしそうにっこり建っています。また、お月さまをみることができ、春、夏、秋、冬がめぐるのを感じることができました。

「いなかはなにもかもたいへんしずかでした。」と、ゆったりと終わります。どんなに文明が進んでも、人が生きていくということの本質が語られているように思います。

絵も、本当に素晴らしく、美しい自然、街の喧騒、時の流れや人の心まで感じられます。

是非大型絵本のほうでたっぷり楽しんでください。

バージニア・リー・バートンさんの絵本、他のものも子ども達は大好きです。

今まで拙い文章をお読みくださりありがとうございました。

荏田南地区社協だより

●　地区社協って？

副会長　佐々木　ハルミ

皆さんは地区社協ってご存知でしょうか？正しくは「地区社会福祉協議会」のことです。地域ごとにある団体です。聞いたことはあるけど・・・ぐらいの認知度でしょうか？（残念ですが）昔は地元の名士の方や地域によっては世話役さんがやっていたと聞いたことがあります。今は社会状況も様変わりして、民生委員（各自治会から一～二名の推薦）と地域のボランティアの方々とで構成されています。なので、本来は皆さんに一番近い、「よろず相談所」なのです。

相談されるからにはもちろん私たちには守秘義務が課せられています。

相談内容に沿ってさまざまな行政機関に繋げたり、またいろいろな地域のボランティア団体さんに繋げたりしています。

ことさら「自助」が強調される昨今ですが、困っている人には「互助・共助・公助」なのではないでしょうか。

生きやすさとは、迷惑をかけあえる関係をどのくらい作られるかということだと思います。

あなたの“勇気ある一歩”に私たち「地区社協」は寄り添い、共に踏み出せたらと・・・

お互い様ですものね・・・

●　荏田南の福祉を語る会

代表　佐藤　寛

◎当地区は入居開始以来、約四十年にわたって住民相互が文化の香り高い町作りを心掛けてきました。さまざまな組織が縦横に作られて、住みよい町作りに貢献してきました。

◎住民が福祉についての増進を図るための本会は、概ね第三日曜日の直前の金曜日午後、主にしいの木台ハイツ集会所で開催してきました。どなたでもご参加いただけます。集会では福祉問題全般にわたって話し合われ、その場で出た個人情報は守秘されます。

◎昨年は、地域内に新しく引っ越してきた高齢の方々がお話しする場がないとのご意見が出ました。コロナのために各種集会が閉鎖されていたりして寂しい思いをされた方もあるようです。近隣では地区センターやケアプラザの他に、各町内には老人会（自治会一部門あるいは独立）があります。また認知症について学べる「ほほえみ交流カフェ」「どんぐりカフェ」が毎月活動しています。さらに市の「元気作りステーション」として「おれんじポコ」「活脳塾」があります。ご自分にあったところを探してご参加ください。

◎地区には子どもたちのための集いや、障害のあるお子さんを育てている親の集まりもあります。新しく来られた方は、ぜひ古い住民や民生委員に気軽に声をかけてみてください。状況によっては災害時に見守りを受けられる「そなえちゃんカード」もお勧めしています。

編集後記

◆ワクチン接種はいつ頃から？**コロナ**だけに**5・6・7**月**ごろ**か**な**？（雅）
◆**「絵本とおはなしの会」**の連載は今回で終了いたします。武笠様有難うございました。
次号から表紙面の絵本紹介は、**「メゾン桜ケ丘　ふわり文庫」**江幡さんの登場です。お楽しみに！（美）

発行責任者：荏田南地区社会福祉協議会会長　藤巻孝司
http://tuzuki-tikushakyo.sblo.jp/category/937703-1.html
エッセイ、メッセージ、写真、イラスト、広告等募集中です。よろず相談も承ります。
◆投稿〆切：5月 22日（土）　◆電話／FAX：045－943－1681（藤巻）
◆問合せ先：090－2208－7352（小泉）　◆メールアドレス：fwgk7412@gmail.com
※エッセイ、メッセージ等は紙上匿名でも大丈夫です。（秘密厳守します！）広報担当責任者：小泉雅二（大丸）

おしゃべりカフェ「ぽこぺん」
お子さんの発達が気になる方
みんなでおしゃべりしませんか？
開催日時などは LINE でお知らせします。
友達登録してくださいね。
問い合わせ
090-1640-1773（樋口）
pokopen.edaminami@gmail.com

任意成年後見手続き
行政書士　青木総合事務所
登録番号　83090748
〒225-0014　青葉区荏田西五丁目17番地22
TEL　045-912-1724